

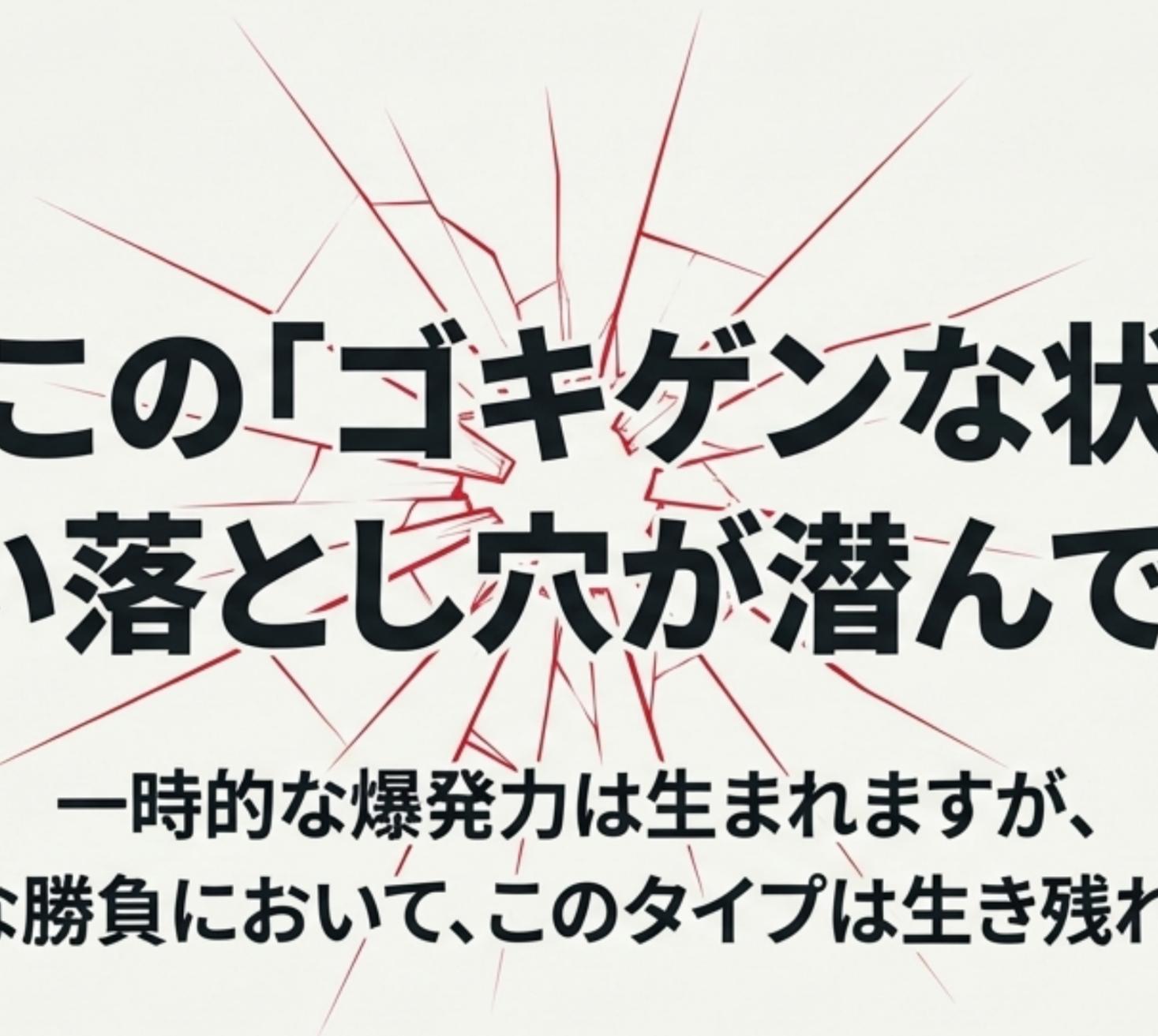
調子の良い時に
ゴキゲンになる人は、
ビジネスで勝てない。

結果に依存しない
「最強の平常心」の作り方

大きな契約。 絶賛されたプレゼン。

結果が出た時、私たちは気分が高揚します。良いプレーが続いた途端にテンポが良くなり、声が出る。一見すると、これは前向きで素晴らしい状態に見えます。



A central graphic consisting of a red, cracked, starburst-like shape with sharp, radiating lines, resembling a broken surface or an explosion. This graphic is positioned behind the main text.

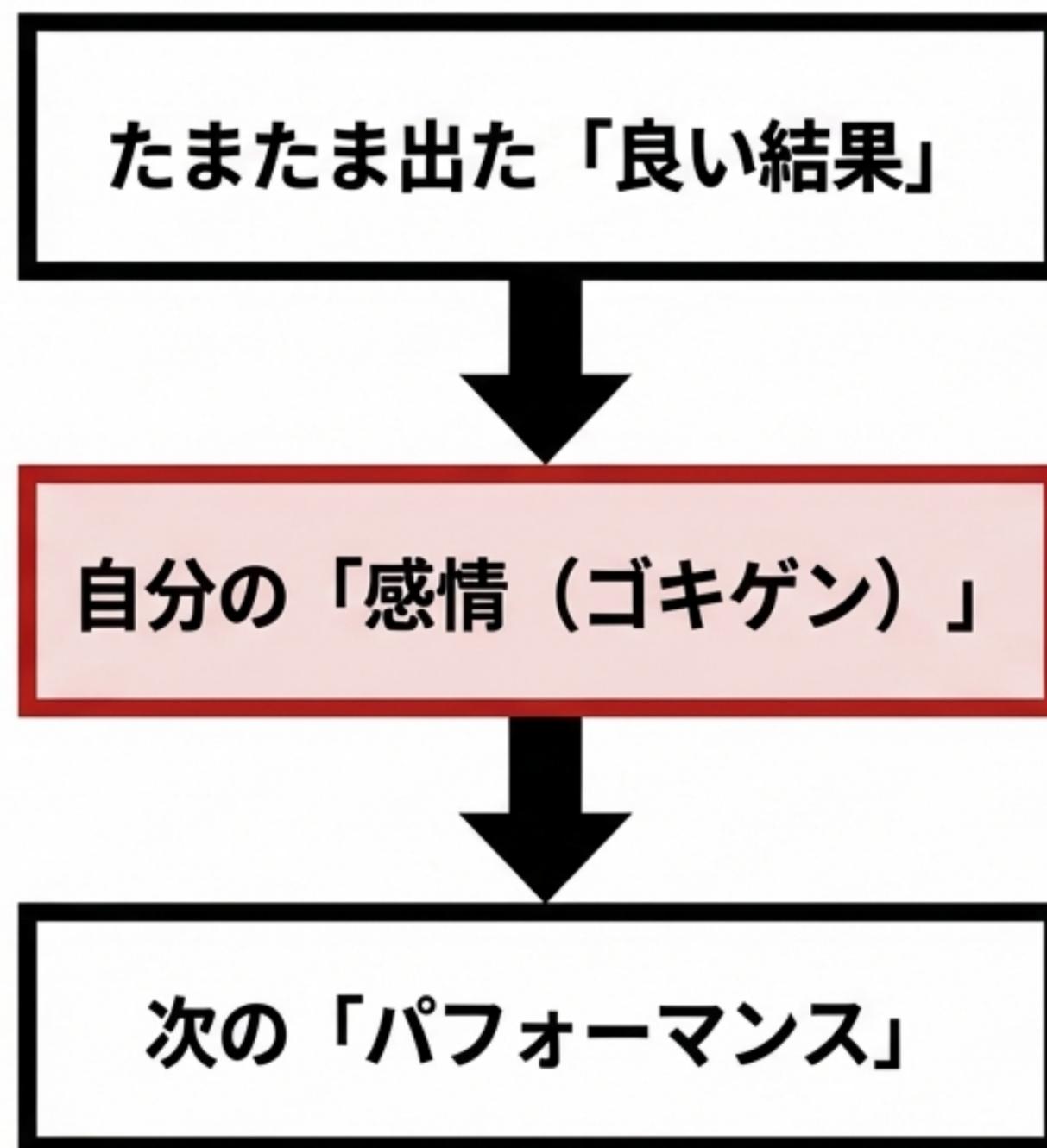
**しかし、この「ゴキゲンな状態」には
恐ろしい落とし穴が潜んでいます。**

**一時的な爆発力は生まれますが、
長期的な勝負において、このタイプは生き残れません。**

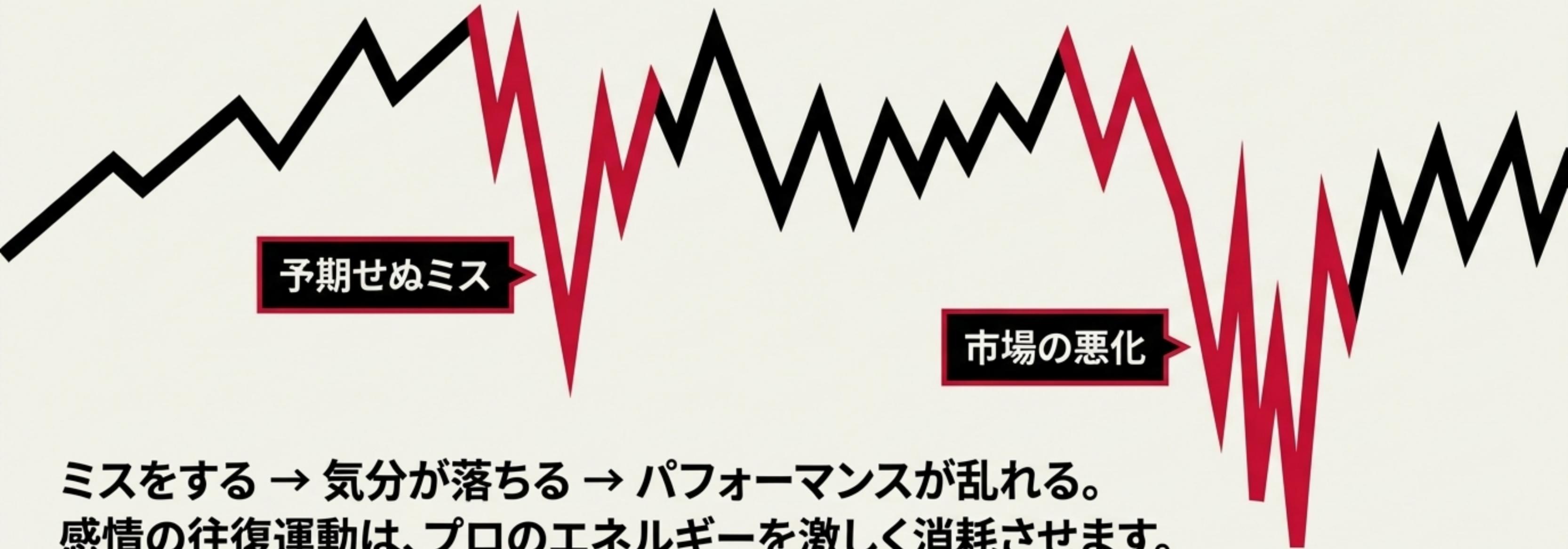
弱点は「結果が状態を決めている」という構造です。

自分の感情という手綱を、
完全に外部要因にコントロールされてしまっている。

これが致命的な脆さを生み出します。



**良い結果でゴキゲンになる人は、
悪い結果に対して異常なほど「脆い」。**



**ミスをする → 気分が落ちる → パフォーマンスが乱れる。
感情の往復運動は、プロのエネルギーを激しく消耗させます。**



~~FUEL~~ 結果

**「結果」をガソリン
にしていると、
逆境でエンジンが
止まります。**

連続するトラブル。
終わらないクレーム。
「良い結果」が出ない
状況に直面した瞬間、
前へ進む力を完全に
失ってしまうのです。

では、過酷な環境を勝ち抜き続ける 「真の強者」とは誰か。

技術でも、運でもありません。
最後に勝敗を分けるのは、状態の安定です。

本当に強いプロフェッショナルの状態は、常に「普通」です。

大成功した時



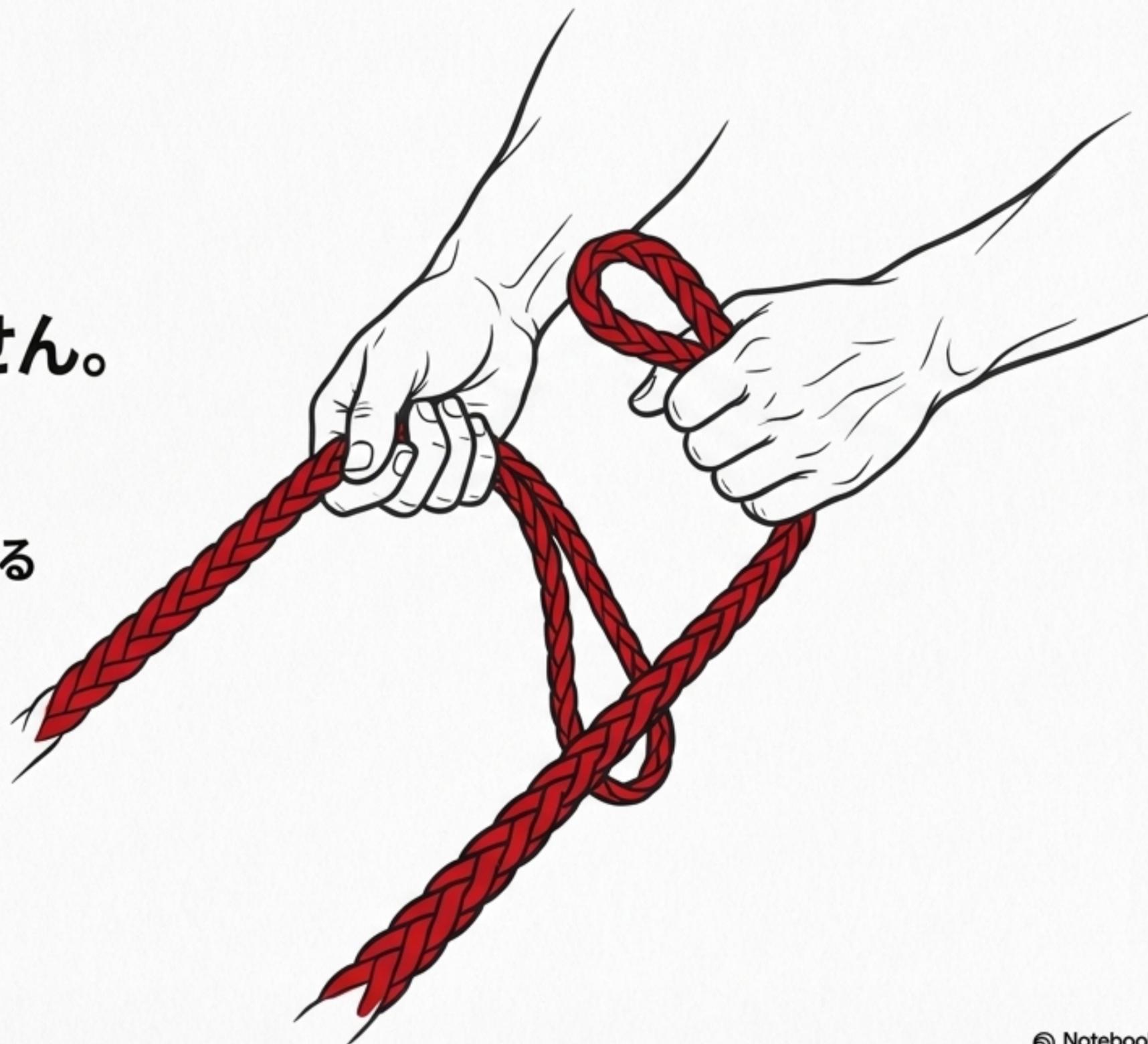
大失敗した時



良くても普通、悪くても普通。手痛いミスをして、顔色一つ変えずに同じテンポで次へ向かいます。

**彼らは、自分の感情の手綱を
「外部の結果」に決して渡しません。**

無駄な感情の起伏を削ぎ落とす。
これが、常に高いパフォーマンスを発揮し続ける
「レジリエンス (回復力)」の正体です。



**勝者は過去の結果を手放し、
「次の一球」に生きています。**

終わった商談も、直前のミスも関係ない。
目の前の「次のタスク」「次のメール」
「次のアクション」だけに100%の命を燃やす。

感情ではなく「やるべきこと」で動く。

本当に強い人は、感情で仕事をしません。
「やるべきこと」が明確に
決まっているからです。

● 同じ顔

● 同じルール・ティーン

● 同じテンポ

**過去に引きずられず「次」に向かうことは、
人間が持つ最も尊く美しい強さです。**

**コンピュータは感情を持たず、自然に
フラットな状態へリセットできます。**

**しかし、人間であるが「究極の平常心」を身につけることは、
並大抵の努力ではありません。**

だからこそ、強いのです。

過去の結果に、
燃料を依存するな。



自らの意志で熱を灯し続ける。
ブレない平常心で、あなたの「次の一球」へ踏み出そう。